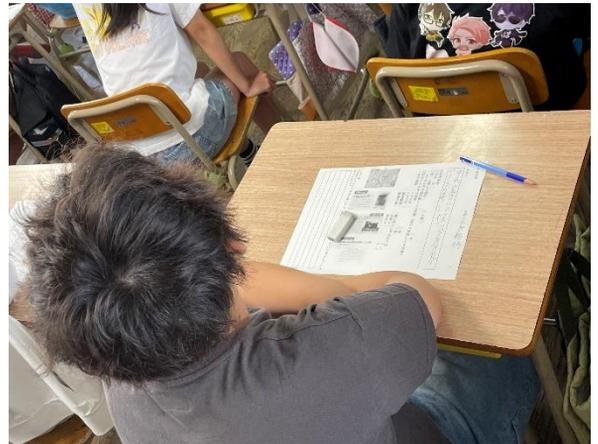


「あたたかな人間関係づくり」を基盤とした教育活動の推進
～「自分大好き」「友達大好き」な児童の育成～

すばらしい平和学習の取組でした
～あらゆる教育活動で集団の質を高めていきましょう～



平和学習の取組ありがとうございます。どの学級においても、各学年の発達段階に合わせた目標設定と教材の準備がなされており、それぞれの先生の「平和への思い」が子ども達に伝わっていました。

また係である水野先生のお話は、子ども達に「戦争と平和に対する意識」を持たせるうえで、とても有効でした。水野先生のお話の時間は、全校生徒が戦争と平和について考える貴重な時間となりました。

校内で行われる教育活動は全て教育目標に向かっています。では、「平和について考える」ということは自身の学級目標とどのようにつながっているのでしょうか？例えば「なかよく」というキーワードがあったとします。「みんな仲良くすればよい」ということは、学級全員が分かっていることです。「分かっているのになぜできないのか？」「実現に向けて学級でどのようなことを大切にしていくのか」「そのために自身が取り組むことは」と考えていくことが、個の充実と集団の高まりにつながっていきます。

これから子ども達が身につけるべき資質能力に「エージェンシー(責任をもって行動する力)」という言葉があります。子どもにとって身近な社会「学級」にどのような課題をもちどのように関わっていくのか。算数の学習でも国語の学習でも、常に学級目標に立ち返りながら、子ども達とともに考えていきましょう。